

暮らしに金沢の雅を取り入れる

ステキ

SUTEKI

Kanazawa Traditional
Arts & Crafts

2008 Autumn

Vol.8

金沢箔

Kanazawa gold/silver leaf



加賀繡

Kaga embroidery



加賀友禅

Kaga yuzen dyeing



金沢九谷

Kanazawa Kutani ceramic ware



金沢仏壇

Kanazawa Buddhist altars



金沢漆器

Kanazawa lacquerware



希少
伝統工芸

Rare traditional crafts



もうひとつの
伝統工芸
今すぐ取り入れたい
普段使いのステキな品々
Another Side of Traditional Arts & Crafts

暮らしに金沢の雅を取り入れる

ステキ

【編集・発行】

金沢工芸普及推進協会

〒920-0962 金沢市広坂 1-2-25

TEL 076-265-3320 FAX 076-265-3321

E-mail info@crafts-hirosaka.jp

http://www.crafts-hirosaka.jp

【編集協力】

協同組合加賀染振興協会

金沢漆器商工業協同組合

金沢九谷振興協同組合

石川県箔商工業協同組合

石川県加賀刺繍協同組合

金沢仏壇商工業協同組合

【取材・撮影協力】

金沢市

(株)エデュース

金沢 21 世紀美術館

(株)金沢寿屋

(有)和倉温泉 信寿し 金沢片町店

(財)石川県音楽文化振興事業団

(株)ザ・スタジオ

【制作・印刷】

ヨシダ印刷 株式会社

【「ステキ」のホームページを開設しています】

www.crafts-hirosaka.jp



Kanazawa Noh Museum

金沢能楽美術館 www.kanazawa-noh-museum.gr.jp

〒920-0962 石川県金沢市広坂 1-2-25

TEL.076-220-2790 / FAX.076-220-2791

開館時間 / 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

休館日 / 月曜日 (休日の場合はその翌日)、年末年始

※展示替などで休館することがあります。



Craft shop "Kanazawa Craft Hirosaka"

金沢・クラフト広坂 www.crafts-hirosaka.jp

〒920-0962 石川県金沢市広坂 1-2-25 金沢能楽美術館内

TEL.076-265-3320 / FAX.076-265-3321

営業時間 / 10:00 ~ 18:00

定休日 / 月曜日 (休日の場合はその翌日)、年末年始



Contents

暮らしに金沢の雅を取り入れる
SUTEKI
Kanazawa
Traditional
Arts & Crafts
2008 Autumn
Vol.8

もうひとつの伝統工芸

Another Side of Traditional Arts & Crafts

今すぐ取り入れたい 普段使いのステキな品々

折り目正しい伝統工芸品が持つもうひとつの側面、それは普段使いの大きさ。美しくて、実用的。そんな伝統工芸品を今の暮らしに活かすためのヒントをつめこみました。

4 巻頭インタビュー 金沢の工芸品には 物語がある

食環境プロデューサー・
経済産業省伝統工芸品産業構造審議会委員

木村ふみ

Fumi Kimura



6 加賀友禅

Kaga Yuzen dyeing

8 金沢漆器

Kanazawa lacquerware

10 金沢九谷

Kanazawa Kutani ceramic ware

12 金沢箔

Kanazawa gold/silver leaf

14 加賀繡

Kaga embroidery

16 金沢仏壇

Kanazawa Buddhist altars

18 希少伝統工芸

Rare traditional crafts

20 金沢工芸職人を訪ねて 金沢箔に関わる人々

People involved in the production of
Kanazawa gold/silver leaf

22 金沢伝統工芸ショップガイド

Shop Guide

世界の今に向けて… 伝統の再編集。

日時／会場

10/10_金 → 19_日

金沢城公園二の丸広場、金沢21世紀美術館 ほか

主催 金沢ファッションウィーク実行委員会・金沢市

共催 金沢商工会議所、(社)金沢経済同友会、(社)石川県繊維協会、石川県伝統産業振興協議会、(社)いしかわファッション協会、(株)繊維リソースいしかわ、(社)石川県縫製協会、金沢工芸普及推進協会、(財)石川デザインセンター

特別協力 北國新聞社、日本経済新聞社

後援 金沢放送局、石川県、金沢市工芸協会、金沢青年会議所、石川県ビジュアルデザイン協会、石川県インテリアデザイン協会、石川県プロダクトデザイン協会、石川県クラフトデザイン協会 (順不同)

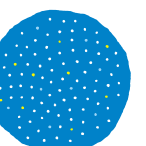


SUTEKI'08 -かなざわ工芸物語-

10/16_木 → 19_日 16日/14:00 ~ 17:00
17-19日/10:00 ~ 17:00

金沢城公園『二の丸広場 特設テント』

デザイン性に優れた新しい工芸品の展示・商談会です。食環境プロデューサーの木村ふみ氏のコーディネートでくらしに視点を当てたわかりやすい「しつらい」で表現し、提案します。



かなざわごのみ

憧れのブランドでも あった金沢の工芸品

金沢の伝統工芸というのはもともと藩主の前田家が文化と産業の振興のために奨励したものです。各地から職人を集めて始めた工芸は、京の雅と江戸の粋が同居する独特の美しさがあります。徳川家への献上品も多く、そのため金沢の工芸品は一種「憧れのブランド」としての側面も持っていました。

前田家が奨励した工芸品は次第に庶民の生活と密着して発展していくのですが、こうした背景を持つているため

に日々の生活というよりは、むしろ年中行事や冠婚葬祭に用いられる「ハレの用」として浸透していきました。四季折々の行事を大切にし、ご近所との繋がりや密な地域性があつたからこそ、はぐくまれたものと言えるでしょう。

こうした地域性は今でも人々の生活に息づいています。「おばあちゃんの煮物を盛り付ける九谷の鉢」や「お母さんがお父さんとお見合いの時に着ていた加賀友禅の振袖」というふうに、

伝統工芸品はただ鑑賞用や財産としてしまい込まれているのではなく、家庭あるいは個人の物語を綴り、物語という思い出とともにそれぞれの品が受け継がれているのです。



食環境プロデューサー・経済産業省伝統工芸品産業構造審議会委員

木村ふみ

Fumi Kimura

金沢の 工芸品には

物語がある

木村ふみ氏プロデュース
「桐茶箱」(第一本店 箔巧館) 参考商品
Produced by Fumi Kimura
Paulownia Japanese Tea box - Kagakomon,
Bamboo pattern
HAKUICHI main store:HAKUKO-KAN
Product example

菊の部分を盛り上げ、竹とのコントラストを箔で表現。箔・桐工芸・九谷焼と、金沢の工芸文化を集めた逸品。

伝統工芸が生まれた当時と現代では私たちを取り巻く環境も生活様式も大きく違ってきます。和服が日常着ではなくなり、フレンチやイタリアンが気軽に食べられる現代では、当時のままの形でそれらの品々を日常に取り入れるのは難しいでしょう。

ですが、金沢ではまだまだ伝統工芸の持つ物語が生きていますし、それを手にすることで金沢人として、あるいは日本人としての血やルーツを感じる事ができる。それも伝統工芸のひとつの役割だと思っています。

技術の革新とともに、これまでになかった発想で新しい伝統工芸品を作り出そうという動きも活発です。おしゃれメッセ2008でも金沢漆器のパティートレーに九谷焼の煎茶器や酒器、金箔箔や桐工芸を用いたステーションナリ、インテリアグッズなど、金沢の伝統工芸の持つ華やかさを活かした新しい商品がいくつもラインナップされています。こうした商品を通して、伝統を現代に活かすシーンの提案を行いたいと考えているのです。

現代の暮らしに取り入れる 「ルーツ」と「らしさ」

仕事柄、「伝統工芸を日常に取り入れるにはどうしたらいいか」というご質問を受けることがよくあります。そうしたことから気づいたことですが、作り手からの提案を待つだけでなく、使う側が発想を転換させることも必要です。

たとえば九谷焼の素晴らしい茶器を持つていたとします。「お茶を飲む習慣がないから」としまいい込んでしまうのではなく、他の使い途がないかと「見立て」をするのです。人によってはチョコレートやキャンディをいれるポット代わりにするかもしれませんし、盆栽の鉢として使うかもしれません。作り手も使い手も固定観念に囚われることなく「自分らしさ」をプラスする。それが伝統を現代の生活に取り入れる一番の手法ではないでしょうか。





街に出る。
装うことを
楽しむ。

「ロングジャケット」参考商品

Long jacket
Product example

加賀友禅の技法で色とりどりの草花を散らしたロングジャケット。同じ模様をボタンにもあしらっており、上品な中にも大人の可愛らしさを表現。
撮影場所：金沢 21 世紀美術館
At 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

加賀友禅

Kaga Yuzen dyeing

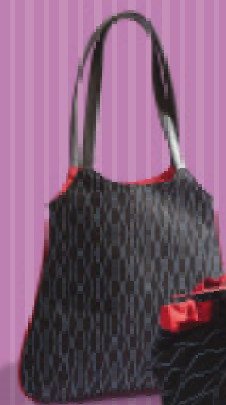
街の散策やショッピング、美術館や音楽会へのおでかけなど、加賀友禅をより日常的に着こなす女性が増えてほしいというのが作り手の心からの願いです。そこで加賀染振興協会では、「加賀友禅のエッセンスを着物以外のものに宿すことはできないか」という柔軟な発想から、広くファッション分野に新境地を切り拓いています。

今注目、加賀友禅の技法で模様をあしらったリアルクロース。友禅作家がファッションデザイナーと一か

らコラボレートしたもので、完成度の高さが評価されています。肩や胸元、裾にアクセント的にあしらわれた模様は、花鳥風月を写真的に描いたエレガントなものから、グラフィカルで斬新なものまで、さまざま。季節や訪れる場所に合わせた色柄を選ぶという着物の楽しみも、そのまま引き継いでいます。

着物であっても洋服であっても、職人が確かな技とこまやかな感性で、丁寧仕上げていることに変わりはありません。

着物から
飛び出した
色、模様とともに。



「加賀染風呂敷バッグ・トートバッグ」
Kaga-zome furoshiki bag and tote bag
伝統的な立涌模様がかえって新鮮な印象のカジュアルなバッグ。風呂敷バッグは開くと一枚の風呂敷になり、リバーシブルで使える。

左「トートバッグ」：¥5,250
W310 × H280mm 持ち手 420mm
表地綿 100% 裏地ポリエステル 100%
右「風呂敷バッグ」：¥6,090
870 × 870mm (広げたサイズ)

「コート」参考商品

Coat
Product example

訪問着を思わせる雰囲気と、洋装の軽やかな素材感が共存。注目を集めること間違いなしの一着。



「ストール」

Stole

従来の加賀友禅の印象を変えるキュートな小物。主張しすぎないワンポイントの染めモチーフが粋。
各¥31,500 / W170 × H1,040mm



「バッグ」

Bag

ころんとした丸みのあるフォルムとやさしい色使いが調和。和服だけでなく洋服に合わせてみても。
¥126,000
W240 × H180 × 持ち手 330mm



「鼻緒」

Geta Strap

「おしゃれは足元から」は、和装でも鉄則。手描きの贅沢な鼻緒は、白足袋に映えそう。
右「草履」：¥89,250
左「鼻緒」：¥36,750



お問い合わせ：協同組合加賀染振興協会（加賀友禅伝統産業会館内）TEL.076-224-5511

Inquiries: Kaga Zome Promotion Cooperative Association (Kaga Yuzen Traditional Industry Center) Tel.076-224-5511

トラツドな
経歴からのぞく、
モダンな横顔。

金沢の町屋を利用した料亭にて、漆器
がそこにあるだけで空間が引き締まる。
和室だけでなく洒落た洋室にもしっくり
くるのが、ほんものの漆器。
撮影場所：加賀精進・会席料理 壽屋
At KOTOBUKI-YA

金沢漆器

Kanazawa lacquerware

余分なものを極限までそぎ落とし
たストイックな世界観が魅力の日本
画しかり、日本人の美意識は「足し
算」でなく「引き算」の考え方に基
づくといわれています。茶の湯文化と
ともに歩んできた金沢漆器も、こう
した引き算の美学が息づいています。
畳の上に座る暮らしをしても、ダ
イニングテーブルに集う暮らしをし
ていても、漆器のある食の風景には、
不思議と心が和むもの。日本人の
DNAのなせる業かもしれません。
漆はそもそも堅牢で水や熱にも強

いもの。塗り直しや補修もできま
すので、一度買ったものを長く使うこ
とができます。お手入れもさほど難
しくありません。食器として用いた
ものなら、使用後にさっと水で洗い、
水分をきちんとふき取っておきます。
ほんの少し手間をかけてお気に入り
の漆器に向き合うひととき。忙しい
毎日だからこそ大切にしたい豊かな
時間です。
漆器は使うことであじわい深くな
ります。しまひ込まず、ぜひ身近に
置いて愛用してください。

師池一貴 作

Moroike Ikki

「加賀蒔絵モダンカップ」(和幸)

Cup with Kaga-makie decoration

WAKO

モダンなデザインの蒔絵カップ。料
理を盛りつけたり、デザートをあし
らったり、使い方を考えるのも楽しみ。

大：¥210,000 / φ 77 × H70mm

小：¥168,000 /

φ 65 × H51mm



宮崎博彰 作

Miyazaki Hiroaki

「福輪 光琳梅扇面朱長角小箱」

(能作)

Vermilion square box

NOSAKU

和のシーンにも洋のシーンにも溶け込
む朱、無駄のないフォルムの調度品。伝
統的な意匠ながら、モダンな雰囲気も。

¥126,000

W180 × D110 × H70mm



器の大事は、
暮らしと気持ちに
なじむこと。

下出光斎 作

Shimode Kousai

「八角盛器 流水蒔絵」(和幸)

Octagonal tray with makie

decoration

WAKO

華やかな席をいっそう盛り上げて
くれる器。和洋中にこだわらず、
料理の演出に活躍してくれる。

¥556,500 / 面部分 415mm、

角部分 444mm、H 54mm



大下升盛 作

Ooshita Masumori

「朱海松貝組弁当(セット)」(能作)

Vermilion lunch box

NOSAKU

家族の特別な日に使ったり、ゲスト
のおもてなしに使ったり。いつもの
食卓を豊かにしてくれる逸品。



「セット(弁当箱 + 銘々皿(5客))」

: ¥630,000

W210 × D136 × H164mm

「弁当箱」: ¥315,000

「銘々皿(5客)」: ¥210,000



大下升盛 作

Ooshita Masumori

「海松貝蒔絵梨子地硯箱」(能作)

Writing box with makie decoration

NOSAKU

梨子地に精緻な蒔絵をほどこした美し
い硯箱。卓の上に置くだけで、気持ち
が引き締まる存在感。

¥630,000

W180 × D200 × H38mm



洋

「和」の感性で「洋」のワインをより美味しくいただく。

九谷焼ワイングラスはフランスのメゾン・エ・オブジェやIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）等さまざまなところでの発表の場を持つ。
撮影場所：九谷焼 鎗木商舗 At KABURAKI SHOHO

「青粒 ボルドーワイングラス」
Blue-dot Bordeaux wine glass
¥30,450

「花詰 ブルゴーニュワイングラス」
Flower-patterned Bourgogne wine glass
¥28,350

「赤絵 赤ワイングラス」
Red-wine glass with red decoration
¥39,900

岡重利 作
Oka Shigetoshi

「青瓷 ナイフ・フォーク置き」
Celadon knife & fork rest
¥4,725

「青瓷 ベース皿」
Celadon plate
¥63,000

和

器に合わせて料理を盛る。これぞ「和」のもてなし。

明治期の赤絵の徳利に、堀川十喜作の玉盃をはじめさまざまな現代の酒器が対峙。この酒にはこの盃、と取り合わせの妙を楽しみたい。
撮影場所：（有）和倉温泉 信寿し 金沢片町店 At Nobu-zushi

「赤絵 大徳利」
Large sake bottle with red decoration
¥420,000

堀川十喜 作
Horikawa Toki

「赤絵おしどり玉盃」
Sake cup with red decoration
¥29,400

金沢九谷
Kanazawa Kutani ceramic ware

お問い合わせ：金沢九谷振興協同組合（九谷焼 鎗木商舗内）TEL.076-221-6666
Inquiries: Kanazawa Kutani Ceramics Promotion Association (c/o Kaburaki Shop) Tel.076-221-6666

COLUMN

九谷焼あれこれ
第1回 福を呼ぶ「招き猫」



古くから縁起物として珍重されている九谷焼の置物。商店の店先で見かける招き猫はその代表格です。一般に商売繁盛のご利益があるとされていますが、色やどちらの手を挙げているかによってご利益が異なることをご存知でしょうか。

右手上げ	金運招来
左手上げ	千客万来
手が耳より高い	遠くから招く
手が耳より低い	近くから招く
白猫	福を招く
黒猫	魔除け、病を防ぐ
黄猫・金猫	金運を招く

を普段の食卓に取り入れることで、食の楽しみがさらに広がると思います。

「お箸を使い、器に口を触れながら、食感や温度を感じて食事をする日本の食文化。九谷焼ワイングラスは、ステムが九谷焼で、土や絵付けの感覚を楽しめます。直接唇に触れる部分はワイン専門のグラスで、唇が触れたときに心地よく、ワインが美味しく感じられます。」

「和」の食空間で愛され続けている九谷焼ですが、洋を意識した新しい商品も登場しています。

九谷焼ワイングラスは、ほっと心が落ち着く和のテイストと洋のスタイルを融合したスタイリッシュな工芸品です。ワインエキスパートであり九谷焼ワイングラスのプロモーションにも参画する早川由紀氏は、ワインとともに九谷焼

金沢市片町の「信寿し」は、能登の新鮮な海の幸が堪能できる寿司店。吟味された九谷焼の器遣いにも定評があります。能登出身で料理人として腕を振るう刀祢修さんは金沢に店を構える際、九谷焼に料理を盛れることに胸が高鳴ったといいます。

「私は料理に合わせて器を選ぶのではなく、器の絵柄や色に合わせて料理をあしらっています。夏は涼しげに、冬は見た目に温かく、季節に応じた演出も楽しいものです。この皿はこう使わなければならないという固定概念を捨て去れば、和食のスタイリングの可能性は無限に広がりますよ。」

もうひとつの
伝統工芸
Another Side of
Traditional Art & Craft
3

私的空間のための コレクション。

木村ふみ氏プロデュース 「おもてなし二段重 市松 葡萄鼠色」 「長角プレート 市松 葡萄鼠色」 (箔一本店 箔巧館)

Produced by Fumi Kimura
Omotenashi Nidan Jubako - Ichimatsu
Black Lacquer Tray - Ichimatsu
HAKUICHI main store: HAKUKO-KAN

日本の伝統色「葡萄鼠」に、市松模様を箔で表現。おもてなし用としても最適。
二段重：¥21,000 / H110 × W250 × D90mm
プレート：¥10,500 / W450 × D320mm

「クリア箸」(箔一本店 箔巧館)

Clear chopstick
HAKUICHI main store: HAKUKO-KAN

透明な箸に箔が映える。スタイリッシュなMy箸として携帯しても。
¥840 / L228mm

「蝶型帯留」(箔一本店 箔巧館)

Butterfly Obi Buckle
HAKUICHI main store: HAKUKO-KAN

ガラスの帯留を箸置きに見立てて。金の蝶がテーブルを華やかに彩る。
¥10,500

金沢箔

Kanazawa gold/silver leaf

れ自体が世界にただひとつのものです。さらにそれぞれのご家庭で「わが家の逸品」に育て上げるものだといえるかもしれません。

箔という伝統的な素材を用いながらも、伝統工芸の既成概念を超えたスタイリッシュな商品も続々登場しています。いつもの空間の中に一箇所、深みのある箔の輝きを置くと、部屋の空気が動き出すのが分かります。伝統工芸のある豊かな暮らしをワンポイントから始め、そして長く続けてみませんか。

およそ箔ほど変幻自在に姿を変え、衣食住のあらゆるシーンで暮らしを彩ってくれる伝統工芸品はないかもしれません。箔は暮らしの中にあつてこそ、その真価を発揮するものなのです。

金沢箔の職人の願い。それは「心を込めて作ったものを、長く大切に使う人のところが宿り、時間を経るにつれ「滋味」がにじみ出てきます。一品一品が手作りの箔工芸品は、そ

木村ふみ氏プロデュース

「樺皮 加賀小紋小皿」 (金銀箔工芸 さくだ) 参考商品

Produced by Fumi Kimura
Trays made of zelkova bark with gold leaf decoration
Sakuda Gold&Silver Leaf
Product example

樺の皮に漆を塗り、伝統的な文様である加賀小紋を上品に施し、天然血に仕上げました。
H50 ~ 60 × W225 ~ 255
× D140 ~ 145mm

「和紙器」(今井金箔)

Case made of Japanese paper
Imai Gold Leaf

和紙を圧縮して形作った質感の高い器に、自然なタッチで金箔をオン。アクセサリーを入れたり、おもてなしに使ったり。
大：¥6,000 / φ 128 × H100mm
小：¥4,000 / φ 108 × H90mm

「三段重 (永遠色・久遠色)」 (箔座ひかり蔵)

Stacking Canister
(Towa-iro / Kuon-iro)
HAKUZA Hikarigura

純金プラチナ箔で大胆に覆った三段重。筋が生み出す金箔の陰影のある表情が美しい。金とプラチナの配合の違いで生まれた2色。
各¥31,500 / φ 150 × 155mm

「三日月花器・パール三日月花器」 (金箔工芸 田じま)

Crescent vase decorated with gold / silver leaf
Tajima Gold Leaf Craft

三日月のかたちと穏やかな輝きを模したユニークな花器。存在感のあるシルエットで空間のドレスアップを。
各¥3,150 / H165 × W200 × D60mm

「アート箔 フラワーポット」 (かなざわカタニ)

Flower pot with gold leaf decoration
Kanazawa Katani

ありそうでなかった、和モダンなフラワーポット。
アート箔は、純金のコントラストのみで絵柄を表現したもの。独自製法により、わずか0.1ミクロンの純金箔上に艶消と光沢の凹凸を実現しました。【製品：製法特許取得済】

左：¥3,900 / φ 75 × H70mm
右：¥6,800 / H90 × W95 × D95mm

色とりどりの絹糸や金糸銀糸を用い、ひと針ひと針丹念に刺繍していく加賀繡。まるで職人の指先が模様を吹き込んでいるようです。先人が確立したゆるぎない技術と高い美意識は今の時代にもしっかりと受け継がれています。繊細かつ豪華な繡を施した着物や帯は、織物にも染物にもない独特の魅力に溢れています。最近では加賀繡をより身近に感じられるドレスも製作されています。一方でふつくら可愛らしい加賀繡の持ち味を活かした小物も人気です。

加賀繡

Kaga embroidery

バッグ、ショールなど普段使いできるものばかり。和装だけでなく、洋装にも取り入れたいものです。

加賀繡は技術と根気を要する仕事です。刺繍の量にもよりますが、半襟なら一週間、帯なら一ヶ月から三ヶ月もの時間がかかります。海外から安価な量産品も入ってきていますが、ひと針の重みは比べるべくもありません。加賀繡の世界に、他の何ものにも置き換えられない手仕事の価値、日本の職人文化のすばらしさを感じ取ってください。



宮越仁美 作
Miyakoshi Hitomi
「カード入れ」(宮越仁美 繡工房)
Card case
Hitomi Miyakoshi:Embroidery Workshop
着物派なら日本の伝統を感じるこんなカード入れも持たいもの。二つ折タイプは花唐草、三つ折タイプは窠(か)に霞文(あられもん)。日本の文様を現代風にアレンジし、身につける小物に吉祥柄を感じさせている。
左：¥6,300 右：¥7,350



岡崎美紀子 作
Okazaki Mikiko
「フォーマルバッグ」(小林刺繍舗)
Formal bag
Kobayashi Embroidery

森本悦子 作
Morimoto Etsuko
「パーティーバッグ」(小林刺繍舗)
Party bag
Kobayashi Embroidery

シャンパンゴールドに軽やかな刺繍、しっとりとした黒に幾何学的な金糸の刺繍。シーンに合わせて選びたい2種類のバッグ。
左「フォーマルバッグ」：¥157,500
H167 × W180 × D70mm (持ち手含まず)
右「パーティーバッグ」：¥52,500
H270 × W155 × D88mm (持ち手含まず)

持つか、纏うか
日本の職人文化の
美しさ。



今井福枝 作
Imai Fukue
訪問着「花紋に水仙唐花」
(ぬいの今井)
Ceremonial kimono
(decorated with daffodils and flower-motif designs)
Imai Embroidery
新春の瑞兆花とされる水仙をあしらった格調高い訪問着。およばれの場面に相応しい上品な色柄。

もうひとつの
伝統工芸
Another Side of
Traditional Art & Craft
5

今日の
軽やかな気分
に
合わせて。

葎ヶ浦悦子 作
Yoshigaura Etsuko
「カメリアフォーマルドレス」
Camellia formal dress
「クラッチバッグ」(ギャラリー蘭鳥〈まゆどり〉)
Clutch bag
Gallery Mayudori
洋服地の軽やかさと着物地の艶が違和感なく融合。ドレスデザインをプロデュースして誕生した完成度の高い一着。おそろいのバッグとともに。
「ドレス」：¥840,000
「バッグ」：¥63,000 / H244 × W103 × D60mm
撮影場所：石川県立音楽堂コンサートホール
At Ishikawa Ongakudo Concert Hall

「今」を暮らす
家族とともに。



「新型金沢仏壇 16 号 (50 代)」
(池田大佛堂)
New-type Buddhist altar size 16
Ikeda Daibutsudo
モダンなリビングルームにはすっきりしたデザインの仏壇を。昔ながらの和風住宅には伝統的なデザインを。置く場所にに応じて仏壇を選ぶ時代です。
撮影場所：SLOW HOUSE
At SLOW HOUSE

「浄土真宗大谷派仏壇 20 号
(70 代)」(澤田仏壇店)
Buddhist altar size 20
Sawada Buddhist Altar Shop
格式を感じさせながらも、伝統的な金沢仏壇に比べ、シンプルで使いやすい仏壇。
H1,580 × W630 × D600mm



「新型金沢仏壇 16 号 (50 代)」
(池田大佛堂)
New-type Buddhist altar size 16
Ikeda Daibutsudo
各宗派共用型。伝統的な製作工程を踏襲しつつ、外観をすっきりさせるなどした現代的な作風。
H1,350 × W525 × D465mm

お問い合わせ：金沢仏壇商工業協同組合 TEL.076-223-4914
Inquiries: Kanazawa Buddhist Altar Manufacturers Association Tel.076-223-4914

金沢 仏壇

Kanazawa Buddhist altar

の良さに配慮した現代的な仏壇を開発しています。たとえばクローゼットなど収納の中に置くことができるコンパクトなサイズや、フローリングの洋室に配しても違和感のないデザイン。従来の意匠にとられない新しいアイデアや使い方の提案が、若い世代からも注目を集めています。

仏壇は、時間とともに人々の記憶や思いを蓄積し、親から子へと受け継がれていくもの。ご先祖に感謝し祈ることを、子どもたちに伝えていきたいものです。

こころにかたちはありませんが、こころのつながりを象徴するのが仏壇です。

「わが家には仏壇を置くスペースなんてないわ」という方もいらっしゃると思いますが、仏壇のために特別な空間を割く必要は必ずしもありません。金沢仏壇では近年、住宅事情や生活様式の変化を受けて、仏壇の小型化や多様化に取り組んでおり、木地、塗り、金具、蒔絵、彫刻など伝統の技を引き継ぎながらも、様式美一辺倒ではなく、住空間の中での使い勝手

住まいに
「こころの置き場所」を
作りましょう。



「木爪型五福掛ミニ仏壇」
(金沢仏壇商工業協同組合)
Compact-type Buddhist altar
Kanazawa Buddhist Altar
Manufacturers Association
五面の掛けを持ち仏閣の本殿を反映。外観は厨子型の木爪型でデザイン的に柔らかさと親しみやすさを感じられる。
H805 × W560 × D485mm



「六角ミニ仏壇」
(金沢仏壇商工業協同組合)
Compact-type hexagonal Buddhist altar
Kanazawa Buddhist Altar
Manufacturers Association
安置する場所に適応しやすい六角のミニ仏壇で、表戸表通しに磨き蒔絵が施されており半間にも合うように考えられている。
H660 × W440 × D400mm

伝統工芸との出会いは一期一会のも
のです。それでも、金沢で「希少」と
称される伝統工芸は、珍しいから価値
があるのではなく、技そのものに価値
があります。

季節を飾る品、茶道や華道に磨か
れた技術、武家社会の中で発達した工
芸。工芸品はもともと、暮らしの中
で使われることを使命としてきました。
今でも人々の身近にあつて、その暮ら
しに潤いをもたらす存在であるという
ことに変わりはありません。

希少伝統工芸

Rare traditional crafts

たとえば鳥の羽を漆や金箔で接いだ
伝統的な釣具である「加賀毛針」。そ
の高度な技術は、華やかな存在感と繊
細さを併せ持つアクセサリー作りに活
かされています。職人が一つひとつ手
仕事で仕上げていくブローチやネックレ
ス、ピアスは、新しいだけのもの、古
いだけのものにはない特別な魅力をた
たえています。

江戸時代、特権階級だけに許され
た鮎釣り。その毛針が装飾品として生
まれ変わり、女性の装いに彩りを添え
ている。「もの」を通して語られる「ス
トーリー」にも、心ひかれませんか。



西川美穂 作
Nishikawa Miho
金工「あなあなもなか」
(金沢・クラフト広坂)
Metal craft
Craft shop
"Kanazawa Craft Hirosaka"

「かみどめ」 中：¥5,200
小：¥4,700
「ペンダント」 大：¥7,800
中：¥6,700
小：¥5,700
「ピアス」：¥7,800



「加賀毛針チョーカー／ピアス」
(金沢・クラフト広坂)
Kaga-fly choker and earrings
Craft shop
"Kanazawa Craft Hirosaka"

鮮やかな色使いと他にない個性的な
デザイン、何より一品一品が手作りで、
それぞれ表情が違うところが受け手、
若い女性を中心に人気。
「チョーカー」：¥4,200 ~
「ピアス」：¥2,940 ~

炭谷加葉 作
Sumiya Kayo
「加賀象嵌簪 (かんざし)」
(金沢・クラフト広坂)
Kaga inlay hair accessory
Craft shop
"Kanazawa Craft Hirosaka"

武具の装飾技術から発達した加賀
象嵌が、今は女性の髪を飾る。シ
ンプルなデザインなので、普段使
いに取り入れやすい。
各¥8,000



ストーリーと
ともに愛したい。
アクセサリー。

伝統工芸の
息吹を
素肌に感じて。

「コサージュ」
「KIBI イヤリング／チョーカー」
(金沢・クラフト広坂)

Corsage
KIBI earrings and choker
Craft shop
"Kanazawa Craft Hirosaka"

伝統工芸の技を文字通り肌で感じられる「加賀
毛針」生まれのアクセサリー。ひとつでも十分
の存在感けれど、複数つけるとより華やかに。

もうひとつの
伝統工芸
Another Side of
Traditional Art & Craft
7

金沢箔に関わる人々

People involved in the production of Kanazawa gold/silver leaf



一

金合せ

Alloying

溶解炉にて、純金94・438%、純銀4・901%、純銅0・661%（四号色の場合の合金配合率）の合金を作り、流し型に流して成型する。

二

延べ金

Extension of gold-alloy

成型された金合金をロール圧延機にて、約100分の5〜6ミリの厚さまで圧延する。

三

コッペの引入れ

Paper insertion

圧延された延金を約6センチ角に裁断し、澄打紙に1枚ずつ挟み、袋革で包み、澄打機で打延ばす。

四

渡し仕事

Extension by beating

次第に大きな澄打紙に移し変え（5回、約21センチ角、厚さ1,000分の1〜2ミリまで打延ばす。



「アート箔 一輪挿し」 （かなざわカタニ）

Small flower vase with gold leaf
Kanazawa Katani

一輪の花の美しさを引き立てるシンプルなデザイン。

アート箔は、純金のコントラストのみで絵柄を表現したもの。独自製法により、わずか0.1ミクロンの純金箔上に艶消と光沢の凹凸を実現しました。【製品：製法特許取得済】

左：¥7,800／φ40（底）×H160mm
右：¥9,800／φ55（底）×H190mm

「レザーバッグ箱型・墨」（箔座ひかり蔵）

Leather Bag-black
HAKUZA Hikarigura

環境配慮の革として注目のレザー素材を使い、箔座オリジナルの純金プラチナ箔でドットをデザイン。収納力も抜群。
¥18,900／H240×W250×マチ100mm（持ち手含まず）



五

澄切り

Cutting

仕上り澄を約11、12の小片に切り、仕込み終わった箔打紙に挟み1,800枚を袋革に包みパックを作る。



六

打ち前

Pounding

袋革に包まれたパックを箔打機にて3分間打ち、15分間熱を冷ます作業を数十回繰返して、厚さ10,000分の1ミリまで打延ばす。



七

箔移し

Transfer of leaves

打ち上り箔を革板の上で、竹枠にて規格サイズに1枚1枚裁断し、間紙に挟んで箔の仕上がりとなる。



八

箔押し

Pressing

素材の各部分に漆などの接着剤で一枚一枚丁寧に箔を貼り、華麗な箔製品として作り上げる。



木村ふみ氏プロデュース

「クッションカバー・ティッシュボックスカバー」 加賀小紋（竹柄）（第一本店 箔巧館）

Produced by Fumi Kimura
Cushion cover - Kagakomon, Bamboo pattern
Tissue cover - Kagakomon, Bamboo pattern
HAKUICHI main store:HAKUKO-KAN

箔一と「tente」とのコラボレーション。竹と菊のグラデーションが繊細に表現されており、和室にも洋室にも合う。

「クッションカバー」：¥5,250／350×350mm
「ティッシュボックスカバー」：¥4,725

木村ふみ氏プロデュース 「樺皮 小紋手まり小物入れ」 （金銀箔工芸 さくた）参考商品

Produced by Fumi Kimura
Container made of finely patterned zelkova bark
Sakuda Gold&Silver Leaf
Product example

見た人がつい手にとってみたくなる手まり型の小物入れ。小紋の文様がより一層可愛らしさを引き立たせています。

大：φ108×H120mm 小：φ93×H105mm



伝統工芸士 箔打ち職人

いまむらとしあき
今村俊明 さん
Toshiaki Imamura

昭和28年より箔打ち一筋に打ち込む。職人の個性が仕上がりに表れるのが箔打ちの面白みであり、怖い部分だという。「良いものができる、背筋から疲れがずっと抜ける思い」があるとか。石川県伝統産業優秀技術者など表彰も多数。親の代から受け継ぐこの仕事に誇りと幸せを感じている。



金沢伝統工芸 ショッピングガイド

お気に入りの逸品を選ぶ時間をゆっくり楽しむ。
旅の折に訪ねたい、伝統工芸のショッピングガイド。(50音順)

加賀繡

石川県加賀市繡協同組合

- 22** ギャラリー 蘭鳥 (まゆり)
〒920-0831 金沢市東山 1-26-7
☎ 076-231-7271
[URL] www.kaganui.or.jp/studios/imai.html
- 23** 小林刺繍舗
〒921-8015 金沢市東力 1-130
☎ 076-291-5150
[E-mail] hanamarumon@nifty.com
[URL] www.kaganui.or.jp/studios/kobayashi.html
- 24** めいの今井 (有) 今井刺繍
〒920-0967 金沢市菊川 2-10-12
☎ 076-231-7271
[URL] www.kaganui.or.jp/studios/imai.html
- 25** 宮越仁美 繡工房
〒921-8034 金沢市泉野町 1-12-12
☎ 076-243-2992
[E-mail] mie_sniff0213@yahoo.co.jp
[URL] www.kaganui.or.jp/studios/miyakoshi.html

金沢仏壇

金沢仏壇商工業協同組合

- 26** (株) 池田大佛堂
〒920-0854 金沢市安江町 5-7
☎ 076-222-5550
[URL] www.kaga-noto.or.jp/Noren01/index1.html
- 27** 今村佛壇店
〒921-8055 金沢市西金沢新町 178-1
☎ 076-249-1366
- 28** 卯野屋仏壇店
〒920-0854 金沢市安江町 15-44
☎ 076-263-9570
[E-mail] nobuhikouno@ezweb.ne.jp
[URL] www.shop-kanazawa.jp/shop/unoyabutsudanten
- 29** (有) 大竹仏壇製作所 匠桑
〒921-8046 金沢市大桑町 10 街区 1-9
☎ 076-244-4069
[E-mail] otkdento@rudyc.ocn.ne.jp
[URL] www.kanazawa-cci.or.jp/easycoupon/cgi-bin/detail.cgi?id=0045&rand_text=0039,0078,0036,0097
- 30** 金沢仏壇商工業協同組合
〒920-0855 金沢市武蔵町 8-2
☎ 076-223-4914
[E-mail] info@kanazawa-butsudan.or.jp
[URL] kanazawa-butsudan.or.jp/
- 31** 北村仏壇店
〒921-8815 野々市町本町 5-4-7
☎ 076-248-3362
- 32** (株) 澤田仏壇店
〒920-0854 金沢市安江町 3-15
☎ 076-221-2212
[URL] www.kanazawa-cci.or.jp/shinise/stores/sawada.html
- 33** 塗師岡仏壇店
〒920-0843 金沢市森山 2-1-29
☎ 076-253-2201
- 34** 塗師岡仏壇店
〒921-8031 金沢市野町 1-2-36
☎ 076-241-0795
[URL] www.kanazawa-cci.or.jp/shinise/stores/nushioka.html
- 35** はやし仏壇店
〒921-8033 金沢市寺町 5-5-17
☎ 076-241-8690
[URL] www.geocities.jp/hayashi_butsudan/
- 36** 三島仏壇
〒920-0862 金沢市芳斉 2-4-2
☎ 076-221-8015
- 37** 森田仏壇店
〒921-8031 金沢市野町 3-2-38
☎ 076-241-1375
[URL] shop-kanazawa.jp/shop.php?shp=453&cald=&calm=w&ml=16
- 38** (有) 山田仏具店
〒920-0854 金沢市安江町 13-32
☎ 076-221-2306
[E-mail] info@yamadabutsuguten.co.jp
[URL] yamadabutsuguten.co.jp/
- 39** (株) 米永仏壇
〒920-0058 金沢市示野中町 1-10
☎ 076-221-1930
[URL] w2223.nsk.ne.jp/~yonenaga/

希少伝統工芸

その他

- 40** 金沢桐工芸 岩本工房
〒920-0854 金沢市安江町 15-43
☎ 076-231-5421
[E-mail] info@kirikougei.com
[URL] www.kirikougei.com/
- 41** 金沢・クラフト広坂
〒920-0962 金沢市広坂 1-2-25
金沢能楽美術館内
☎ 076-265-3320
[E-mail] info@crafts-hirosaka.jp
[URL] www.crafts-hirosaka.jp
- 42** 桐漆工芸 上坂
〒920-0936 金沢市兼六町 2-15
☎ 076-264-1511
- 43** (有) 津田水引折型
〒920-0935 金沢市石引 2-2-5
☎ 076-224-9023
[E-mail] info@mizuhiki.jp
[URL] www.mizuhiki.jp/
- 44** 広瀬桐工芸
〒921-8022 金沢市中村町 30-20
☎ 076-241-2544
- 45** 目細八郎兵衛商店
〒920-0854 金沢市安江町 11-35
☎ 076-231-6371
[E-mail] webmaster@meboso.co.jp
[URL] www.meboso.co.jp



金沢・クラフト広坂

- 3** 加賀友禅 毎田染画工芸
〒920-0964 金沢市本多町 3-9-19
☎ 076-221-3365
[E-mail] info@maida-yuzen.com
[URL] www.maida-yuzen.com

- 7** (株) 和幸
〒921-8163 金沢市横川 7-43
☎ 076-247-4455
[E-mail] wakou@nsknnet.or.jp



(株) 能作

- 12** 九谷焼 諸江屋
〒920-0981 金沢市片町 1-3-22
☎ 076-263-7331
[E-mail] kutani@moreoya.com
[URL] www.moreoya.com/

- 13** 黒龍堂
〒920-0853 金沢市本町 1-5-3
リファール 1F
☎ 076-221-2039
[E-mail] kutani@kokuryudo.com
[URL] www.kokuryudo.com/

- 14** 順風堂
〒920-0904 金沢市下近江町 40
☎ 076-231-2700
[E-mail] webmaster@junpudo.co.jp
[URL] www.junpudo.co.jp/

- 15** 北山堂
〒920-0962 金沢市広坂 1-2-33
☎ 076-231-5288
[E-mail] office@hokusando.co.jp
[URL] www.hokusando.co.jp/



かなざわカタニ



(株) 金銀箔工芸さくだ



金箔工芸 田じま



(株) 箔一本店 箔巧館

- 協同組合加賀染振興協会
1 加賀友禅伝統産業会館
〒920-0932 金沢市小將町 8-8
☎ 076-224-5511
[E-mail] info@kagayuzen.or.jp
[URL] www.kagayuzen.or.jp/

- 2** 長町友禅館
〒920-0865 金沢市長町 2-6-16
☎ 076-264-2811
[E-mail] mail@kagayuzen-club.co.jp
[URL] www.kagayuzen-club.co.jp/

- 4** 赤地漆器店
〒920-0805 金沢市小金町 12-2
☎ 076-252-8939

- 5** (株) 石田漆器店
〒920-0981 金沢市片町 1-7-21
☎ 076-261-2364
[E-mail] ishida@po3.nsknet.or.jp
[URL] www3.nsknet.or.jp/~ishida/

- 6** (株) 能作
〒920-0962 金沢市広坂 1-1-60
☎ 076-263-8121
[E-mail] nosaku@kanazawa.gr.jp
[URL] www.kanazawa.gr.jp/nosaku/

- 8** 片岡光山堂
〒920-0936 金沢市兼六町 2-1
☎ 076-221-1291
[URL] shop-kanazawa.jp/shop.php?shp=151&cald=&calm=w&ml=35

- 9** 九谷焼 錦木商舗
〒920-0865 金沢市長町 1-3-16
☎ 076-221-6666
[E-mail] kanazawa@kaburaki.jp
[URL] www.kaburaki.jp/

- 10** 九谷巴商会
〒920-0936 金沢市兼六町 2-13
☎ 076-231-0474
[E-mail] akira23@guitar.ocn.ne.jp
[URL] shop-kanazawa.jp/shop.php?shp=146&cald=&calm=w&ml=35

- 11** 九谷焼 長寿堂
〒920-0961 金沢市香林坊 2-4-5
☎ 076-221-1822
[E-mail] honten@chojudo.com
[URL] www.chojudo.com/

- 16** (株) 今井金箔
〒920-0968 金沢市幸町 7-3
☎ 076-223-8989
[E-mail] info@kinpaku.co.jp
[URL] www.kinpaku.co.jp/

- 17** かなざわカタニ
〒920-0902 金沢市尾張町 2-16-80
☎ 076-231-1566
[E-mail] office@katani.co.jp
[URL] www.k-katani.com/

- 18** (株) 金銀箔工芸さくだ
〒920-0831 金沢市東山 1-3-27
☎ 076-251-6777
[E-mail] kinpaku@goldleaf-sakuda.jp
[URL] www.goldleaf-sakuda.jp

- 19** 金箔工芸 田じま
〒920-0855 金沢市武蔵町 11-1 2F
☎ 076-263-0221
[E-mail] info@tajima-kinpaku.co.jp
[URL] www.tajima-kinpaku.com

- 20** (株) 箔一本店 箔巧館
〒921-8061 金沢市森戸 2-1-1
☎ 076-240-0891
[E-mail] info@hakuichi.co.jp
[URL] www.hakuichi.co.jp/

- 21** 箔座ひかり蔵
〒920-0831 金沢市東山 1-13-18
☎ 076-251-8930
[E-mail] hikarigura@hakuza.co.jp
[URL] www.hakuza.co.jp/

加賀友禅

協同組合加賀染振興協会

金沢漆器

金沢漆器商工業協同組合

金沢九谷

金沢九谷振興協同組合

金沢箔

石川県箔商工業協同組合

